

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

47

号

2023.10



龍王峡（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（外科）	2
部門紹介（栄養部）	3
外来担当医一覧	4
医学部生見学／Facebook／求人情報	5
塩野室診療所	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 外科

外科と一口に言ってもなかなか診療内容がわかりづらいかもしれませんが、私たちは癌の診断や治療、急激な腹痛（急性腹症）への対応、一般外科疾患への対応を専門として行っています。外科手術においては、病気がしっかり治ること、安全であること、加えて体に優しい手術であること、をバランスよく成り立たせ、一人ひとりに最適な治療を提供できるよう心がけています。

スタッフは副院長はじめ5名の常勤医、非常勤医3名で一丸となって診療にあたっています。5名の常勤医が標榜する資格としては外科専門医2名（うち指導医2名）、消化器外科専門医2名（うち指導医2名）、大腸肛門病専門医2名（うち指導医1名）、乳腺専門医1名となっており、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、乳房再建用エキスパンダー/インプラント実施施設に認定されています。

当科の診療内容の特徴は、

■ 胃癌診療

- ・腹腔鏡下胃切除術および体腔内再建
- ・国立がんセンター方式による過不足のないリンパ節郭清

■ 大腸癌診療

- ・腹腔鏡下大腸切除術および更なる低侵襲を目指した体腔内再建
- ・再発巣切除などの積極的な再発治療

■ 乳癌診療

- ・乳房再建手術・乳房温存療法など整容性に配慮した手術
- ・病理医と連携したセンチネルリンパ節生検による腋窩郭清省略

■ 甲状腺・副甲状腺診療

- ・甲状腺癌に対する手術
- ・透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対する手術治療

■ 胆のう炎

- ・経験豊かな胆道内視鏡医と連携した胆道結石治療

■ 虫垂炎

- ・より低侵襲な腹腔鏡下虫垂切除を導入

■ 尿管部ヘルニア

- ・腹腔鏡下アプローチ含む多角的アプローチによる確実な手術

■ 痔疾

- ・ジオン注による低侵襲痔核治療
- ・複雑痔瘻に対する拡大手術

■ 骨盤臓器脱（特に直腸脱）

- ・腹腔鏡下固定術の導入

■ その他の急性腹症

・迅速な対応と確実な処置となります。

日光市民の安心と安全を守る総合的な外科を目指しています。いつでもご相談下さい。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 栄養部

【業務内容】

栄養部は、食事提供および栄養相談を担当しております。

【食事提供】

安心安全かつ美味しく、そして健康に配慮した食事を毎日約450食提供しています。

また、患者さん一人一人の病気や症状に合わせたお食事を準備しています。

食事は「一般食」と「特別食」に大きく分かれます。「一般食」は、特別制限のない食事です。食形態は常食・分粥食・流動食・嚥下食などが該当します。「特別食」は、病気治療を考慮した食事です。食形態は、心臓食・糖尿食・透析食などが該当します。さらに、食物アレルギーや宗教上の禁止食品など、可能な限り個別対応を行っています。

入院患者さんを対象に毎年嗜好調査を行い、そのご意見を参考に、食事の質の改善に努めております。



【栄養相談】

病気の予防・回復、健康の維持・増進に役立つ正しい食生活を患者さんが送れるよう栄養相談を行っています。



全ての患者さん（入院・外来含む）に対し、予約制にて個別栄養相談を行っています。医師の指示のもと、生活習慣病をはじめ様々な特別食に関する栄養相談を行い（患者さんと共に計画することに意義があります）、これからの生活がより一層有意義なものとなるよう親身となって対応して参ります。

※食事についてお困りのことがありましたら、ご遠慮なく、栄養士にご相談ください。

日本人の目標塩分量は、男性 7.5g/日未満 女性 6.5g/日未満となっています。
特に疾患をお持ちでない方でも、塩分のとりすぎには気をつけましょう！

外来担当医一覧

診療科	今和5年10月1日現在						
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
呼吸器内科	知花和行准教授(新患) 伊藤 藍医師	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	知花和行准教授 (新患)	小池涼太医師	知花和行准教授(第1週) 原澤 寛特任教授(第2週) 戸田正夫特任教授(第4週) 伊藤 藍医師(第5週)
呼吸器外科							手塚勇吾医師(再診) 消化器内科医師(新患)
*1	松本健吾医師	手塚勇吾医師(新患)	松本健吾医師(新患)	吉田栄雄医師(再診)	吉田栄雄医師(再診)	山上 尚准教授(第1,3,5週) 山中秀樹(第2,4週)	消化器内科医師(第1,5週) 泌尿器内科医師(第2週) 北原 慶次郎医師(第4週)
*2	佐藤愛准教授(新患)	松本健吾医師(新患)	中元隆明特任教授	中元隆明特任教授	大谷 直由准教授	川本進也教授 【腎臓内科外来】	堀江康人教授
*1	手塚勇吾医師(新患)	松本健吾医師(新患)	大谷 直由准教授	杉村浩之教授	杉村浩之教授	大谷 直由准教授	水口 聡医師
*1	杉山拓空医師	北原 慶次郎医師	北原 慶次郎医師	巴 崇医師	大谷 直由准教授	水口 聡医師	
*2	舘訪 秀明医師	山下 正博講師 【腎臓外科】	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	野澤成大医師	頭痛外来(第2週) (予約のみ)
糖尿病・内分泌内科	伴場信之特任教授	中谷祐己准教授	中谷祐己准教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	中谷祐己准教授	齋藤千明医師(第4週)
脳神経内科	渡邊由佳准教授 (予約のみ)					土屋智裕医師 水島隆秀講師 (腎臓図録重,第3週)	
外科	関 悠佑医師	前田雅和医師/入江淳子医師		尾形英生講師	山口 悟教授	尾形英生講師	山口 悟教授 外科担当医交代制
整形外科	長田伝重教授 大江真人医師 高見澤 遼医師	長田伝重教授 都丸哲平医師	長田伝重教授 高見澤 遼医師	長田伝重教授 高見澤 遼医師	長田伝重教授 高見澤 遼医師	南出寛人教授 都丸哲平医師 徳崎 歩医師 【小児科外来(第1週) シブヤマ外来(第2週)】	整形外科医師 整形外科医師
形成外科・美容外科	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	鈴木彩子医師	大塚天心医師	鈴木彩子医師 大塚天心医師	鈴木彩子医師 大塚天心医師	大塚天心医師(第4週) 鈴木彩子医師(第2週)
心臓・血管外科	土屋豪医師 (第1,3,5週) 手塚雅博医師 (第2,4週)			松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	
皮膚科	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	原 侑可医師	原 侑可医師	原 侑可医師	
泌尿器科	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	幸 英夫准教授	原 侑可医師	原 侑可医師	原 侑可医師	
眼科	須田雄三特任准教授 吉澤智也助教	須田雄三特任准教授	須田雄三特任准教授	吉澤智也助教 須田雄三特任准教授	吉澤智也助教	吉澤智也助教	幸約患者のみ (交代制)
救急・総合診療科	長谷川 大医師	野村 藍医師	野村 藍医師	川本 駿医師	川本 駿医師	川本 駿医師	川本 駿医師(第1週) 野村 藍医師(第2週) 野村 藍医師(第3週) 巴 崇医師(第5週)
産科							
ドック・健診(予約制)	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	
看護外来							
看護外来							

協賛医療大学日光医療センター
〒321-1289
栃木県日光市森本146番地1
TEL: 0288-23-7100 (代表)
TEL: 0288-23-7000 (FAX)

旭化成通入退院支援センター
TEL: 0288-23-7100 (直通)
FAX: 0288-23-5057

受付時間: 月曜日～土曜日(9:50～11:00) ※重症患者受付は午前8時30分から稼働いたしております。(再発予約のみ)
日曜日～土曜日(9:00～12:00/13:00～16:30)
※リウマチ外来: 毎月第1木曜日(予約のみ)
※心臓・血管外科: 水曜日については14:00～16:00(予約のみ)

○休診日: 日曜・祝日・第3土曜・年末年始(12/29～1/3)・閉学記念日(4/23)
○予約変更等のご連絡は、原則として前日(土曜、休診日を除く)の午後3時～4時までにご連絡ください。その他の時間帯はご遠慮ください。
○患者様のご紹介くださる際は、緊急時を除き0288-23-7050、整形外科受付0288-23-7051、リハビリテーション部受付0288-23-7058へご連絡ください。
* 脳神経内科: 物忘れ新患外来につきましては、午前11時までの受付で、一日1名の予約制となります。
* 脳神経内科: 午前11時までの診療で予約制となります。
* 眼科: 令和5年11月から常勤医師の配属となります。
* 総合診療科: 令和5年11月から常勤医師の配属となります。
* 呼吸器外科: 令和5年11月から常勤医師の配属となります。
* 産科: 令和5年11月から常勤医師の配属となります。
* 1: 予約外来 * 2: 予約外来

フットケア

フットケア

フットケア

フットケア

医学部生見学

今年度から本学に入学することとなった、医学部生のオリエンテーションが開催され日光東照宮に赴いた後に日光医療センターの施設見学を行いました。

病院概要の説明に加え、ハンガリーからの研究生として来日している先生の講話も行いました。



日光医療センター Facebook

当センターのFacebookが開設されて、はや1年半になろうとしています。

現在も毎週水曜日19:00に各職員が日光医療センターを紹介した記事を投稿しています。

医療従事者しか入れない場所や患者さんに知ってほしいことなど、日光医療センターについて様々な紹介をしていますので是非ご覧ください。



当センターと一緒に働いてみませんか？

**医師事務作業補助者
募集中**
(パートタイム)

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 23 - 7072 管理課

編集後記

これまで、広報誌などに寄稿することはありました。しかし、編集側となり、編集後記を任されたのは初めてでした。表紙の写真についても依頼をされ、新鮮な感覚でした。写真については、今まで、家族写真などプライベートなものを撮影する程度の素人でしたので、なかなか難しかったのですが、素晴らしい写真をいただくことができ、大変感謝しております。編集担当者の苦勞についても勉強させていただきました。今後とも日光医療センター通信をよろしくお願いいたします。(H.Y.)

連携医療機関認定病院紹介 塩野室診療所

塩野室診療所は1994年に旧今市市の市営診療所として開業し、その二年後に当時の嘱託医師だった院長林 建良が市から診療所を譲り受け、現在に至っています。

院長は台湾台中の出身で台湾の医学部を卒業した後、三年間の内科と小児科の臨床訓練を経てから1987年に日本交流協会（日本駐台湾大使館相当）奨学生として来日しました。日本では糖尿病医としての研究と臨床訓練を受け、来日8年目に当時の今市市福田昭夫市長の招聘によって新しく開業する市営の診療所に赴任してまいりました。塩野室診療所に赴任した最大の理由はこの地域の美しい田園風景に一目ぼれしたからです。

塩野室診療所は農村地にある典型的な田舎の診療所で、先進的な医療ではなく、誰でも気軽に受診できる、患者中心の地域医療を心がけています。当診療所は、エドワード・リビングストン・トルドー先生（Edward Livingston Trudeau. アメリカの医学教育者）の次の言葉をモットーとしています。

To cure sometimes 時に治し
To relieve often しばしば和らげ
To comfort always 常に慰める

この言葉に秘められた教えは、多くの病気は実は医者の方ではなく患者自分の回復力によって治るといえるものです。だから良い医者とは、必要以上に介入をせず、患者に寄り添いながら、苦痛を和らげたり悲しみを慰めたりすることのできる医者だということなのです。

このようなモットーを持つ診療所だから、名医もいなければ最先端の医療機器もありませんが、温かく患者さんを迎えるスタッフは常にいます。

塩野室診療所では一般的な疾病なら人並みに治療できますが、診療所で検査や治療ができない場合は獨協医科大学日光医療センターに受け入れていただいております。

尚、塩野室診療所の特色といえば、医者が日本語以外に台湾語、中国語と英語も通じることと、必要以上に広い駐車場があることです。

田舎の診療所ですが、これからも日光医療センターに助けをいただきながら、地域医療の役割を果たしてゆく所存です。



塩野室診療所



塩野室診療所 院長
林 建良(りん けんりょう)先生

日光医療センター通信 ～いろは～ 第47号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000(代表) FAX 0288-23-5000

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月日/令和5年10月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター
広報・マーケティング委員会

印刷/株式会社松井・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

